

領域Ⅶ 家族とのつながり

【特記事項】

- 新規
- 継続

【利用者の希望や思い】

～したい、
～に困っている

【本人の状況とその環境】

気になること、
気づいたこと

領域Ⅶ 家族とのつながり

2. 家族への理解と対応	①職員の理解や対応について 家族の思い	
	②職員による家庭訪問の必要性	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有
	③必要な範囲での家族状況の把握	<input type="checkbox"/> 良好
【特記事項】 <input type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 継続	【利用者の希望や思い】 ～したい、 ～に困っている	
	【本人の状況とその環境】 気になること、 気づいたこと	

領域Ⅶ 家族とのつながり

関係職員等に求めたい情報		

生活支援計画書(1)

利用者氏名: F.T
 調査日:
 担当者氏名: 藤原 麻美

施設利用への利用者の意向
<ul style="list-style-type: none"> ・普通浴での入浴を続け、余暇時間はテレビ鑑賞や、仲の良い利用者と談話したりし、穏やかな園生活を送りたい。 ・仲の良い利用者と共に、外出や旅行を楽しみたい。

総合的な支援の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・外出や旅行の情報の提供を行ない、外出や旅行を行なうことで、日常生活を充実させる。 ・機能訓練を行い、機能の維持と、スムーズないざりが行なえるようになり、普通浴での快適な入浴が出来るよう努力する。

生活支援計画書(2)

利用者氏名: F.T
 調査日:
 担当者氏名: 藤原 麻美

背景要因		生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)		支援目標		支援内容		評価	
		長期目標(期間)	短期目標(期間)	援助内容	担当職種	いつ	どこで	期間	
<p>園行事での旅行は無く なってしまうが、少人数での旅行にならば、行ってみたいと思っ ている。</p> <p>特に趣味をもっておらず 自宅でテレビ鑑賞をし て過ごすことが多い。 園内の献立では自分の 好きなものが出る機会 が少ない。</p>	<p>仲の良い利用者と一緒に外出や旅 行にしたい。</p> <p>仲の良い利用者と一緒に外出や旅 行をし、気分転換をはか る。</p> <p>仲のよい利用者とともに外出し、好き なものを食べたい。</p>	<p>旅行、外出を実現する。</p> <p>旅行、外出の計画を立てる。</p>	<p>旅行、外出の情報提供を 行い、計画を立てる。</p>	<p>介護職員</p>	<p>随時</p>			<p>6ヶ月</p>	<p>仲の良い利用 者との外出は 楽しみにして いるようで、誘 いを受けると、 自分の意見と 合わせ相談し ている様子本 人の希望を聞 き、情報提供を 行ない、今後も 外出を計画し ていきたい。</p>
	<p>膝関節の屈伸運動を 取り入れる。</p> <p>膝関節の屈伸運動を訓練に取り入 れる。</p>	<p>膝関節の柔軟性を取り 入れたい。</p> <p>訓練に膝関節の柔軟性を説明し、 理解を得ることが出来るよ う努め、膝関節運動を 行っていく。</p>	<p>訓練に膝関節の柔軟性を取り 入れたい。</p>	<p>訓練の重要性を説明し、 理解を得ることが出来るよ う努め、膝関節運動を 行っていく。</p>	<p>訓練士 介護職員</p>	<p>訓練時 日中</p>	<p>訓練室 南館ホール</p>	<p>6ヶ月</p>	<p>膝の屈伸運動 を行なっていく よう本人のT シャツを着るこ とが出来た。訓練 を行なうように なり、本人もき ちんと取り組ん でいる様子で あり、今後も様 子をみて行き たい。</p>
	<p>普通浴での入浴を続けたい。</p> <p>普通浴での入浴に比べて つくりと入浴が出来、 気持ちよい。</p> <p>入浴時にいざり移動す るために、マットでのい ざり運動を行なっている が、よリスムーズにいざ りするには膝関節を柔軟 にする必要がある。</p>	<p>普通浴での入浴を続けたい。</p> <p>普通浴での入浴を続けていく為にも 訓練に膝の屈伸運動を取り入れて いきたい。</p> <p>間食が多く(缶コーヒーや菓子な ど)、野菜類の偏食がある。</p>	<p>間食を減らし、食事きちん と摂取できるように配慮する。</p> <p>間食を減らし、バランスの 良い食事摂取が出来ると 栄養説明、声掛けを行 なっていく。</p>	<p>間食を減らし、バランスの 良い食事摂取が出来ると 栄養説明、声掛けを行 なっていく。</p>	<p>医師 栄養士 介護職員</p>	<p>毎食時</p>	<p>食堂</p>	<p>6ヶ月</p>	<p>野菜類の残食 については声 掛けをするもの は、食べること はない、少しでも 摂取していくよ う、栄養士や香 味師からも来 園についての 説明をしてもら うよう依頼した い。</p>

【支援計画に具体化されなかったニーズ】

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	課題(ニーズ)についての現状	具体化されなかった理由もしくは解決法
<p>これ以上訓練を増やしたくないと思っている。</p>	<p>機能訓練で、平行棒歩行、牽引、階段昇降、マット運動(いざり)を行なっている。</p>	<p>普通浴での入浴が本人の希望にあり、いざり移動がスムーズに行なえるようにするために、膝関節を柔軟にすることが必要である。訓練についての説明を行なって本人の了承を得ることが出来るようにする。</p>

経過記録一覧

利用者名: F. T

日付	時間	カテゴリー	内容	担当職員
2002年7月1日		リハビリ	膝の屈伸運動をするよう声掛けを行なうが、「せんよ。」と答える。	藤原 麻美
2002年7月2日		リハビリ	膝の屈伸運動をするよう訓練士より話をする。本人の了解を得て、訓練士がいる時に、14時より南館のホールで膝の屈伸運動を5回程度を目安に本人の調子を見ながら行なうこととなる。	訓練士 藤原 麻美
2002年7月4日		リハビリ	午後よりホールで膝の屈伸運動を行なう。時間になると、自らホールにきて訓練に取り組む。5回×2セット行なう。	藤原 麻美
2002年7月10日		外出	民間福祉サービスを利用し、Y.Mさんと阿知須ぶどうの森へ出掛ける。昼食は園内のレストランでステーキを食べたとのことで外出を楽しんだ様子。	藤原 麻美
2002年7月10日		リハビリ	午後よりホールで膝の屈伸運動を行なう。7回行なう。	藤原 麻美
2002年7月14日		食事	娘の面会時、食事の摂取状況や偏食、間食が多いこと、又、膝の屈伸運動を始めたが、体重を増加をすることにより、膝に負担がかかるようになること等を話し、面会時に持参するおやつ等にも配慮するよう協力をお願いする。	藤原 麻美
2002年7月15日		食事	昼食時、野菜類に全く手をつけていない為、食べるよう声掛けをするが、「いらんよ。」と言い、食事を終える。	藤原 麻美
2002年7月17日		食事	食事中に野菜類を少しでも食べるよう話すと、うなずきはする	藤原 麻美
2002年7月17日		外出	9月に市の体育館にボリショイサーカスが来るので、観に行かないか尋ねるが、「いかんよ。」と答える。	藤原 麻美
2002年7月20日		外出	サーカスについて、Y. Mさんから一緒に行かないか誘いを受ける。寿司を食べに行きたいとの本人の希望もあり、サーカスを観て、寿司を食べに行くよう計画を立てることに	藤原 麻美
2002年7月20日		リハビリ	訓練の参加状況を訓練士に聞く。入浴日以外の平日(月、水、木)きちんと取り組んでいることを話す。	訓練士
2002年7月23日		外出	サーカスのチケット購入について、民間福祉サービスの介助の予約が取れてからにすることを話す。	藤原 麻美
2002年7月23日		食事	夕食時、野菜類を食べよう声を掛けるが、「いらんよ。」という為、一口ずつでも食べるよう話すが、野菜は残す。	藤原 麻美
2002年7月24日		外出	介助者の依頼について民間福祉サービスに問い合わせる。翌月にならないとはっきりとした返事が出来ないとのことで、8月になってから改めていらいすることにする。	藤原 麻美

二一ズ整理表

利用者名: F.T

領域	※1	区分	待記事項	分類	二一ズ (支援計画表に転記する内容です)	転記
領域Ⅱ 健康	職員	新規	間食が多く(缶コーヒーや菓子など)、野菜類の偏食がある。 現在、いざりの訓練を行なっているが、よリスム一ズにいざることが出来るようになる為には、膝関節を柔軟にする運動を行なった方が良い。		間食が多く(缶コーヒーや菓子など)、野菜類の偏食がある。	○
領域Ⅱ 健康	職員	新規			膝関節の屈伸運動を訓練に取り入れる。	○
領域Ⅱ 健康	本人	新規	現在、訓練はがんばっているが、これ以上訓練のメニューや量を増やしたくないと思っている。		これ以上訓練を増やしたくないと思っている。	
領域Ⅱ 健康	本人	新規	自分の好きなものは園の献立で出る機会が少くない。仲の良い利用者と一緒にあれば、外食したいと思っている。		仲のよい利用者とともに外出し、好きなものを食べたい。	○
領域Ⅲ 日常生活活動	職員	新規	普通浴でのゆよくが出来るようになり本人も満足している。今後も普通浴での入浴を続けていく為にも、いざり訓練が大切である。		普通浴での入浴を続けていく為にも訓練に膝の屈伸運動を取り入れていきたい。	○
領域Ⅲ 日常生活活動	本人	新規	普通浴での入浴は特殊浴の時に比べてゆっくりと入浴することが出来、気持ちよいのでこのまま普通浴での入浴を続けていきたい。		普通浴での入浴を続けていきたい。	○
領域Ⅵ 社会参加、余暇活動	職員	新規	園内では趣味をもっておらず、テレビ鑑賞をして過ごすことが多い。仲の良い利用者と一緒に外出を楽しむことで、気分転換にもなるのではないかと思われる。		仲の良い利用者と一緒に外出や旅行をし、気分転換をはかる。	○
領域Ⅵ 社会参加、余暇活動	本人	新規	園行事での旅行は無くなってしまったが、仲の良い利用者と一緒に少人数での外出、旅行ならば、行ってみたいと思っている。		仲の良い利用者と一緒に外出や旅行にいてみたい。	○

厚生労働科学研究費補助金・障害保健福祉総合研究事業

「療護施設における電子情報を用いた個別支援のあり方に関する基礎研究」

(平成14年度 総括・分担研究報告書)

☆

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

全国身体障害者施設協議会

TEL. 03-3581-6502 / FAX.03-3581-2428